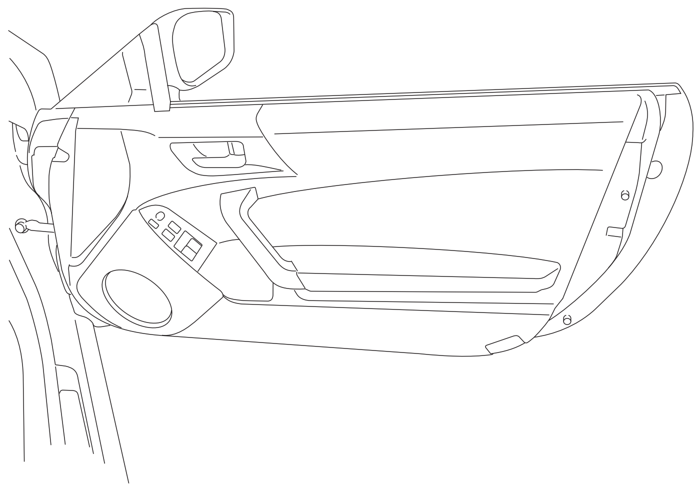
# ドアミラーオートシステム
# 取付説明書

純正部品番号　H2717CA000
適応車種・年式　BRZ（2012年4月～）

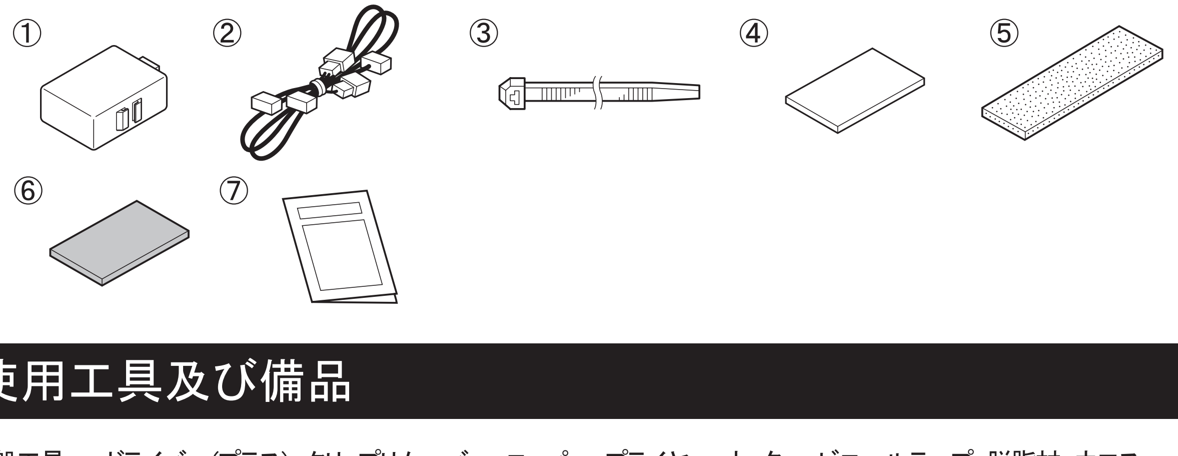
## 1　取付完成図



## 2　構成部品

（作業を始める前に構成部品の確認を必ず行ってください。）

| No. | 部　品　名　称 | 数量 | No. | 部　品　名　称 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | コントローラー | 1 | ⑤ | ウレタンシート（70×200mm） | 1 |
| ② | ハーネス | 1 | ⑥ | フラットワイヤプロテクター | 1 |
| ③ | ハーネスバンド [L=150mm] | 9 | ⑦ | 取扱説明書 | 1 |
| ④ | 両面テープ | 1 | | | |




## 3　使用工具及び備品

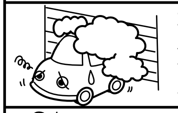
一般工具・・・・ドライバー（プラス）、クリップリムーバー、ニッパー、プライヤー、カッター、ビニールテープ、脱脂材、ウエス、
マスキングテープ
参考マニュアル・・・・整備解説書、電気配線図集

# 4　取付上の注意事項

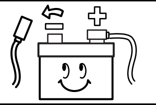
・本製品は、最初の取付けの良否がその後の性能、耐久性および、不具合の有無に大きく影響します。作業を始める前に以下の注意事項をよくお読みいただき、正しい取付けを行ってください。
・記載事項を守らなかったためまたは、設定以外の車両に取付けたために発生した不具合および、事故等については責任を負いかねます。
・本文中の表示記号と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから作業を始めてください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告　安全のために必ず守っていただくこと。生命の危機または、重大な損害につながる恐れがあります。 | ⚠ 注意　製品使用上、製品取付上必ず守っていただくこと。傷害や製品性能の低下および、物的損害につながる恐れがあります。 |

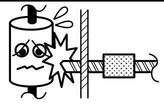
## ⚠ 警告



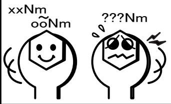
取付作業は、雨等の心配のない充分な広さを持った屋内等で行ってください。
その場合、換気を確実に行い排気ガスの充満には充分注意してください。



取付作業中は、バッテリーのマイナス端子を外して行ってください。
エアバック付き車両は、整備要領書の指示に従ってください。

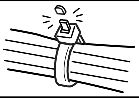


他部品(特に裏側にある部品)の位置を確認の上、ドリルの刃や取付用のスクリュー等が干渉しないように注意して行ってください。
ドリル加工時は、保護メガネを着用して作業を行ってください。




締付けトルクの指示のある部位は、規定トルクで確実に締付けてください。

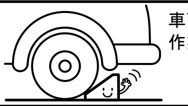
部品の取付けや外した車両部品を取付ける際は、配線を引っ掛けたり、挟込まないでください。



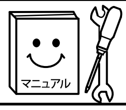
ハーネス配索は、ハーネスバンド等を使用して、他部品との干渉等がないよう固定してください。また、余分なハーネスバンドは切取ってください。(特に走行・制動に関係する機器等に干渉すると危険です。)

●SRS　エアバッグ（プリテンショナーシートベルト等を含む）装着車に取付ける際の注意事項
・エアバッグシステムおよびハーネスは、ステアリングコラム、インストルメントパネル、センターコンソール、AおよびBピラー、ルーフ、エンジンルーム等に配置・配索されています。
　これらの部分に関係して作業する時は、下記項目、部品等に貼付けられたコーションラベル、整備要領書の注意事項を必ず守って行ってください。
　①エアバッグ用のコネクターは、基本的に外さないでください。
　②エアバッグ用のハーネスには、ディーラーオプションのユニット、ハーネス等の固定はしないでください。
　③エアバッグ用のユニット等の固定ボルトを使って、アース端子、部品、ブラケット等を共締めしないでください。
　④エアバッグに関係する回路に割込む場合、必ずエアバッグ専用側でなく車両側ハーネスで行ってください。
　⑤エアバッグに関係する回路をチェックする場合、原則としてサーキットテスター等は使用しないでください。それぞれのチェック方法は、整備要領書に従い行ってください。
・車両復元後、エアバックインジケーターが異常を表示した場合は、整備要領書のエアバックの項目に従い点検を行ってください。

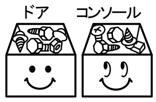
## ⚠ 注意



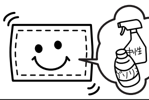
車両をジャッキアップする場合は、必ず平らな場所で作業し、輪留め等の処理を行ってください。



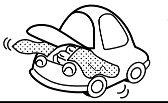

車両部品を取外す場合や復元する場合には、整備要領書を参照して作業してください。



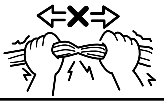

車両から取外したクリップ、スクリュー等は、復元時に間違えないようにしてください。



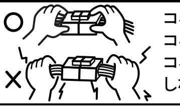

テープおよび、両面テープ等で取付ける箇所は、汚れ、油等を完全に除去してください。



車両に傷や汚れなどが付かないように、ボディの傷付け防止および、車室内には保護カバー等を使用して作業を行ってください。

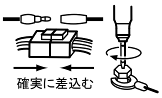


ハーネスを強く引っ張らないでください。




コネクターを外す際は、ハーネスを引っ張らずコネクター本体を持ってロックを外してください。
コネクターのロックは、ドライバー等でこじって破壊しないでください。

オプションのアース端子を車両アース端子へ共締めする際は、別途指示がある場合を除き、ボルト、車両アース、オプションアース、ボディパネルの順に取付けを行ってください。




配線、ギボシ、コネクター等の接続は、確実に行ってください。

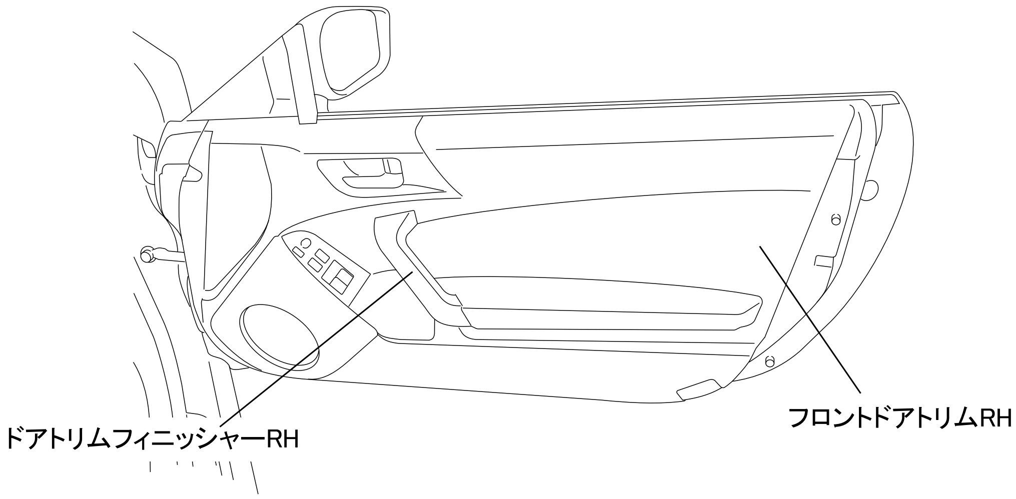
製品の汚れは、スポンジ等に中性洗剤を付けて落としてください。シンナー等の有機溶剤、酸、アルカリ等の使用は絶対に避けてください。

## 5 ドアミラーオートシステム　取付要領・手順

### 1 車両部品の取り外し

配線のショート防止および、車両部品破壊防止のため、必ず以下の手順で作業をおこなっていただけるよう、お願いします。

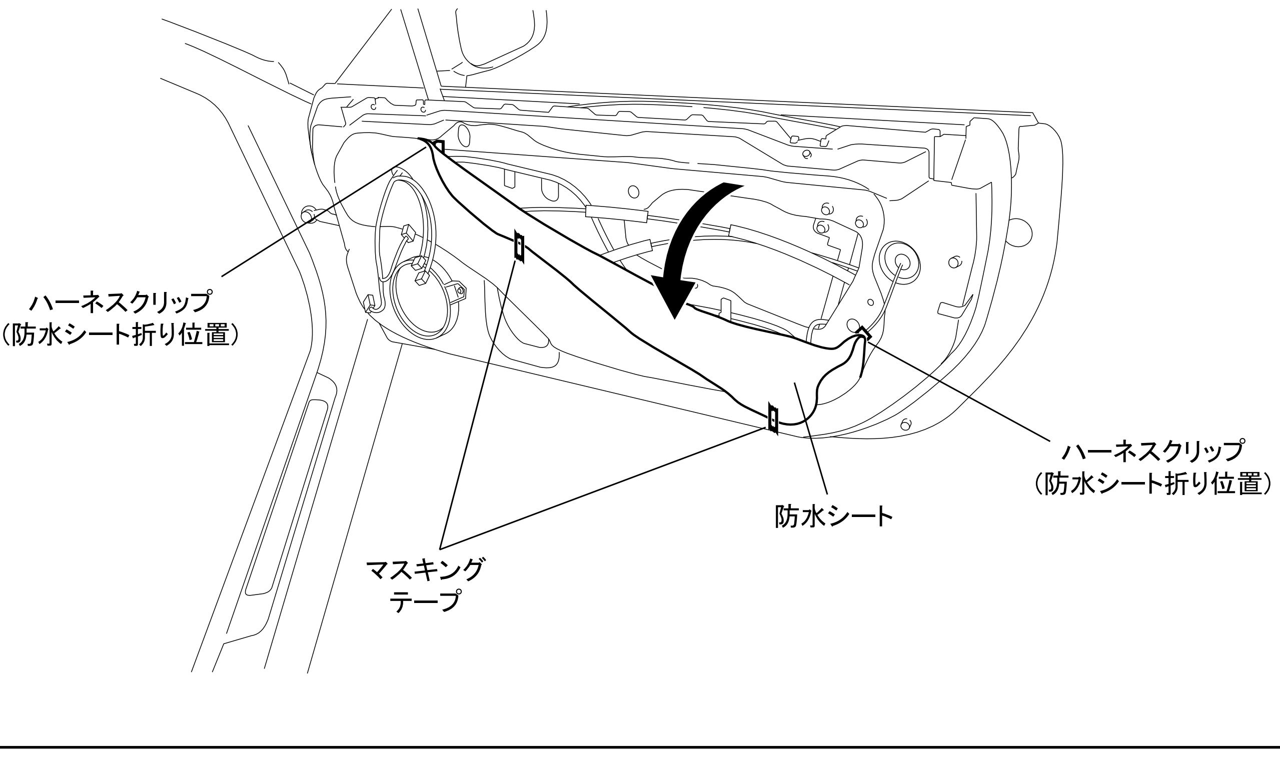
(1) イグニッションキーを「ON」にし、運転席側のウインドウガラスを下げます。
(2) イグニッションキーを「OFF」にし、バッテリーのマイナス端子を外します。
(3) 下記の部品を順番に外します。
　・ドアトリムフィニッシャーRH
　・フロントドアトリムRH




**⚠ 注意**

●バッテリーをつないだまま作業を行うとパワーウインドウの故障の原因となります。必ず上記の手順で作業を行ってください。

(4) 防水シート(下図の範囲)を剥がし、マスキングテープで仮止めします。
（ブチルテープをカッターで切ります。）



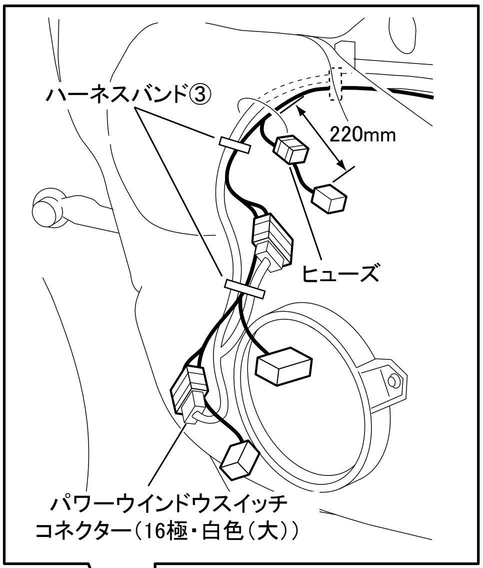
# 2 ハーネスの接続と固定

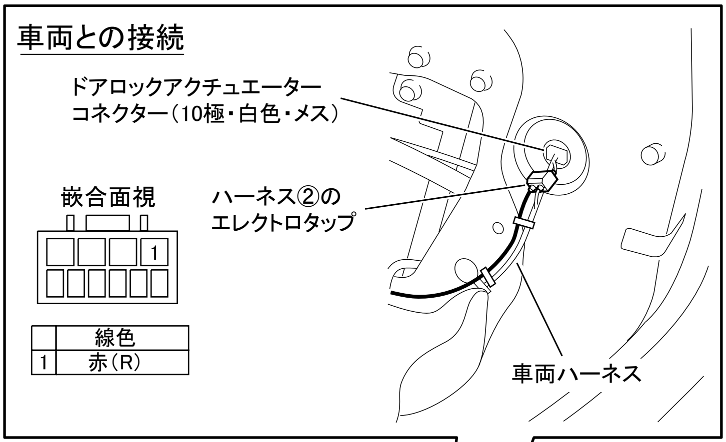
## 2-1. ドアロック信号の接続

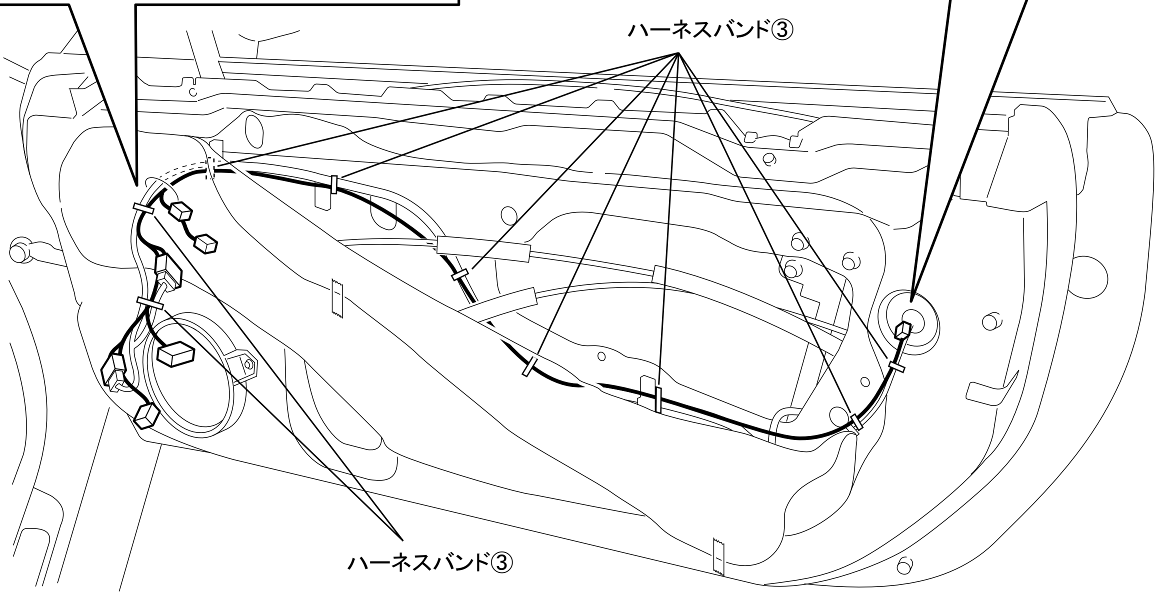
(1) 下図のように車両ハーネスに沿ってハーネス②を配策します。
(2) 車両コネクター（ドアロックアクチュエーターコネクター：10極・白色・メス）のビニールチューブを50mmカットします。
(3) ハーネス②の黄色線を車両コネクター（ドアロックアクチュエーターコネクター：10極・白色・メス）のドア・ロック信号線（赤）にハーネス②のエレクトロタップで接続します。
(4) エレクトロタップを絶縁テープで巻きます。
(5) ハーネス②を図のように配線し、車両コネクター（ミラーコントロールスイッチコネクター：16極・白色（小）・及び、パワーウインドウスイッチコネクター：16極・白色（大））に割込み接続します。
(6) 下図のようにハーネス②をハーネスバンド③で車両ハーネスに固定します。（9ヶ所）
(7) 防水シートを元に戻します。

**⚠ 注意**

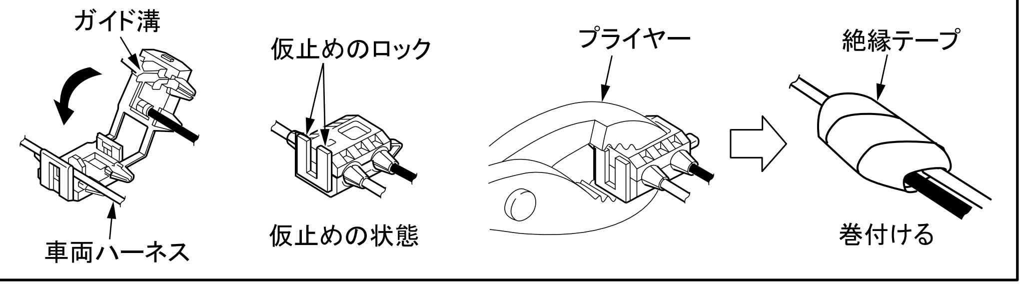
・防水シートのブチルテープを確実に戻す作業を行ってください。



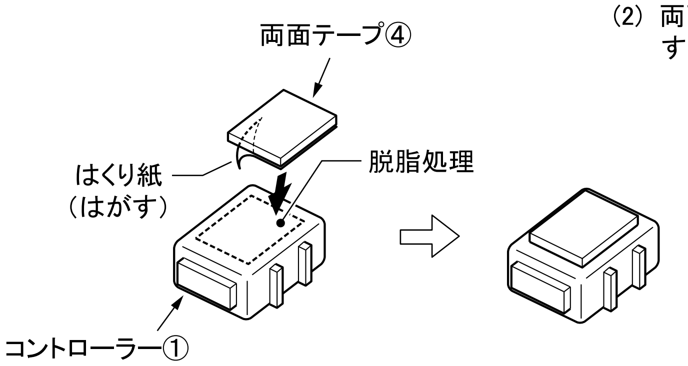

### エレクトロタップの接続と絶縁テープ巻き方法



# 3 コントローラーの取り付け

## 3-1. 準備

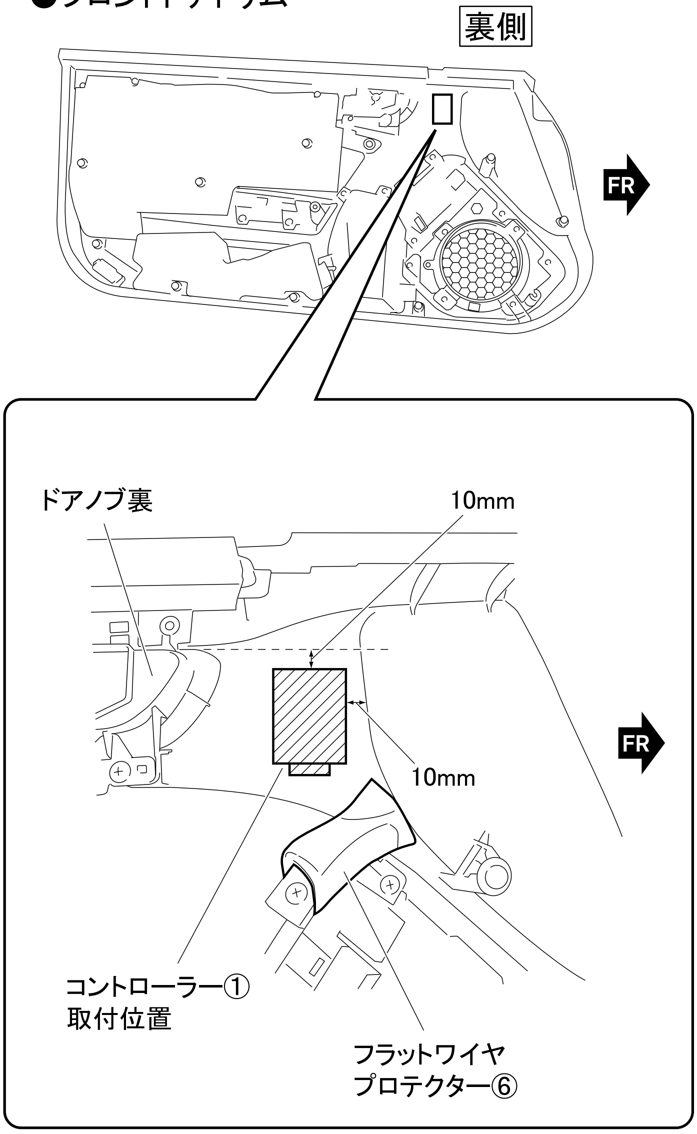
●コントローラー①に両面テープ④を貼ります。



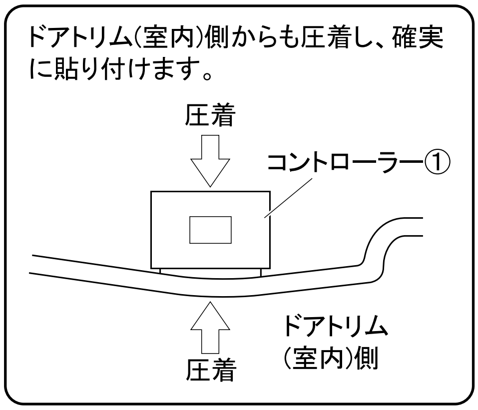

(1) コントローラー①の貼り付け面（ラベルが貼られていない面）を脱脂処理します。
(2) 両面テープ④をコントローラー①に貼り付けます。

## 3-2. コントローラーの取り付け

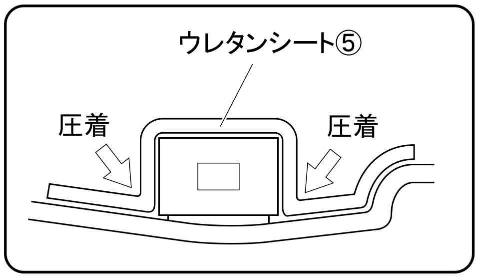
●フロントドアトリム




(1) コントローラー①の左図取付位置を脱脂処理します。
(2) コントローラー①裏側へ貼り付けた両面テープ④で、コネクターが下向きになるようにコントローラー①を取付位置に貼り付けます。



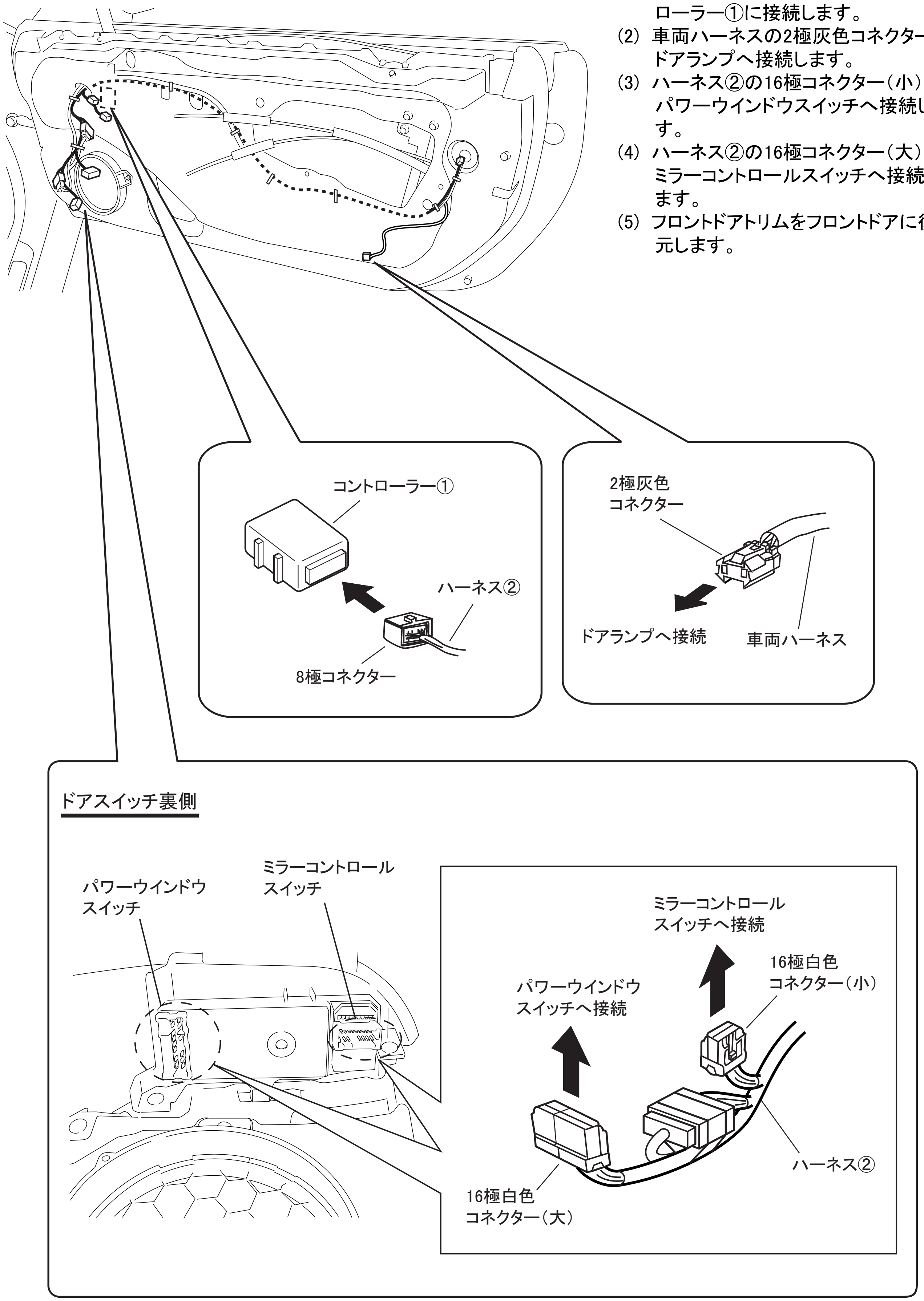

(3) 貼り付け箇所を脱脂処理し、コントローラー①を覆うようにウレタンシート⑤を貼り付けます。




(4) 貼り付け箇所を脱脂処理し、ドアトリムエッジにフラットワイヤプロテクター⑥を貼り付けます。

# 4 復元と接続

（1） ハーネス②の8極コネクターをコントローラー①に接続します。
（2） 車両ハーネスの2極灰色コネクターをドアランプへ接続します。
（3） ハーネス②の16極コネクター（小）をパワーウインドウスイッチへ接続します。
（4） ハーネス②の16極コネクター（大）をミラーコントロールスイッチへ接続します。
（5） フロントドアトリムをフロントドアに復元します。



# 6　用品の作動確認

1. 取り付けの確認
　　作動確認の前に、配線や取り付けに異常がない事を確認してください。

2. 作動確認
　　以下の手順に従い、作動確認をおこなってください。
　　また、作動不良が発生した場合は、トラブルシュートに移り点検を実施してください。

作動確認スタート

↓

バッテリーの（－）側ケーブルを取り付けてください。

↓

イグニッションスイッチをACCにしてください。

↓

電動格納スイッチを格納側および展開側にします。▪
ミラーがスイッチ動作に連動しますか？

しない → Aの点検
（トラブルシューティングP8参照）

する ↓

電動格納スイッチを展開側にした後、イグニッションスイッチをOFFにし、ドアをリモコンキーまたは集中ドアロックスイッチでロックします。ドアミラーが自動的に格納しますか？

しない → Bの点検
（トラブルシューティングP8参照）

する ↓

作動確認終了

# 7　最終確認

1. ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ドアロック・パワーウインドウ・ハザード等、電気系統に異常がないか確認してください。

# 8　取り外した車両部品の復元作業

「作動確認」完了後、取り外した車両部品を元通りに取り付けてください。

# 9 トラブルシューティング

## Aの点検

用品ハーネスの白色8Pコネクターはコントローラーに接続されていますか？ → NO → 用品ハーネスの白色8Pコネクターをコントローラーに接続してください。

用品ハーネス及びミラースイッチの16Pコネクター（オス・メス）は正しく接続されていますか？ → NO → 取付説明書を参考に、ハーネスを正しく接続しなおしてください。
また、車両のヒューズが切れている場合がありますので確認の上交換してください。

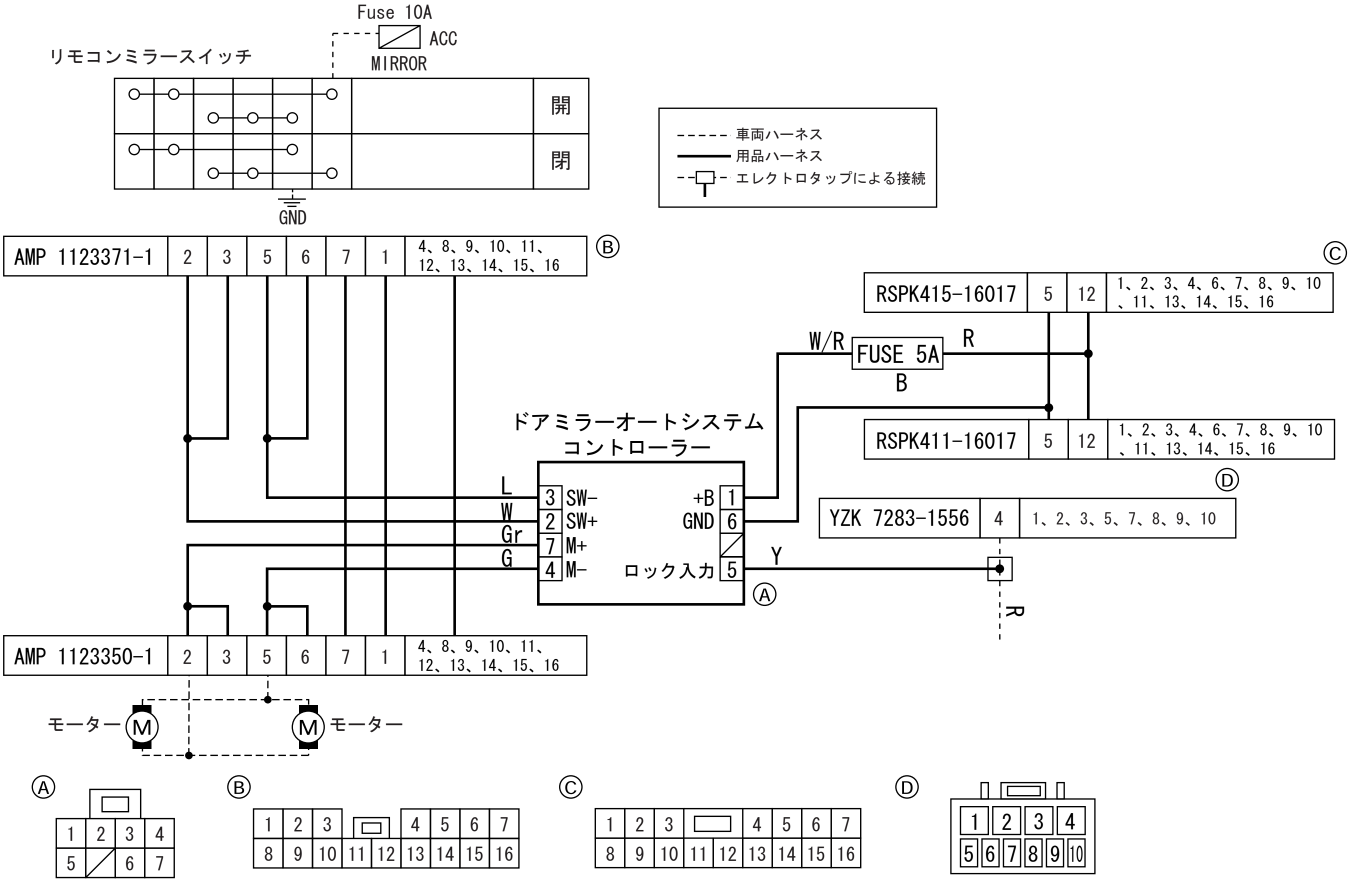
## Bの点検

用品ハーネスの＋B・GNDは車両ハーネスに接続されていますか？ → NO → 正しく接続してください。

用品ハーネスのヒューズは切れていませんか？ → NO → ヒューズを交換してください。（ブレードヒューズ5A）

リモコンキーまたは集中ドアロックスイッチでドアロックした時にドアロック信号線（黄）が0V→12Vに変化しますか？ → NO → 用品ハーネスのドアロック信号線と車両ハーネスとの接続を再確認してください。

用品ハーネス及びミラースイッチの16Pコネクター（オス・メス）は正しく接続されていますか？ → NO → 取付説明書を参考に、ハーネスを正しく接続しなおしてください。
また、車両のヒューズが切れている場合がありますので確認の上交換してください。

上記の点検をおこなっても正常に作動しない場合 → コントローラーを交換してください。

# 10 回路図